

第 1 1 回 教育研究評議会議事要録

日 時 平成 1 6 年 1 2 月 1 5 日 (水) 午後 1 時 0 0 分～午後 3 時 0 0 分
場 所 第 1 会議室
出席者 久米学長、井上理事、重定理事、原理事、奥村文学部長、野口理学部長、
西村生活環境学部長、矢野人間文化研究科長、的場附属図書館長、水上附属学校部長、
出田、森岡、池原、富崎、磯田、清水、今井、坂本各評議員
列席者 岡監事、上野監事、位田総務・企画課長、上岡人事課長、河井国際課長、
吉田研究協力課長、山本学務課長、中川学生生活課長、鈴木入試課長、植田図書課長

議事に先立ち、第 1 0 回教育研究評議会記録を確認。

I 審議事項

1. 学内諸規程の制定について

(1) 国立大学法人奈良女子大学学則の一部改正(案)について

入試課長から、資料 1-1 により改正の趣旨及び内容について説明があり、学長から諮られ、審議の結果、原案どおり承認し、役員会に提案することとした。

(2) 国立大学法人奈良女子大学における大学教員の任期に関する規程の一部改正(案)について

学長から、第 1 0 次定員削減計画の法人化後の取扱いに係る平成 1 5 年 8 月 6 日の評議会決定を確認の後、全学流動化助手ポストの 1 名を 2 1 世紀 COE 事業にかかる研究等に従事させる助手として採用することとした経緯について説明の後、当該助手に任期を付すこととしたいとの提案があり、人事課長から資料 1-2 により規程の改正内容について補足説明の後、学長から諮られ、審議の結果、原案どおり承認し、役員会に提案することとした。

なお、学長から、当該助手の任用にあたり、両副学長、人間文化研究科長及び拠点リーダーからなる選考委員会を設置し選考願うこととしたいとの提案があり、これを了承した。

また、学長から、残る全学流動化助手ポストの人事については、平成 1 7 年度概算要求の結果等を踏まえ、今後早期に検討したいとの説明があった。

II 報告事項

1. 第 3 回経営協議会及び第 7 回役員会について

学長から、1 2 月 1 日に開催された第 3 回経営協議会及び 1 2 月 3 日に開催された第 7 回役員会における審議概要について報告があり、役員会において決定された平成 1 7 年度予算編成方針について資料 2 により説明があった。

2. 社団法人国立大学協会臨時総会について

学長から、12月8日に開催された社団法人国立大学協会臨時総会における審議概要について報告があった。

3. 平成16年度アフガニスタン女性教員研修実施プログラムについて

重定理事から、2月3日～2月7日に実施する平成16年度アフガニスタン女性教員研修実施プログラムについて、資料3により報告があり、歓迎会への出席等プログラムの実施に係る協力について依頼があった。

4. 評価に関する検討事項について

重定理事から、評価企画室において立案した評価関係等のスケジュール案について資料4により報告があった。

5. その他

(1) 教育COEに係る学内募集結果について

学長から、来年度の申請に向け、各部署から寄せられた取組みについて資料5により報告があり、今後、役員で内容を検討し、課題を整理したうえで、検討願うこととしたい旨説明があった。

(2) 近畿地区高等学校進路指導連絡協議会主催「高大連携実践発表会」について

理学部長から、12月3日に開催された近畿地区高等学校進路指導連絡協議会主催「高大連携実践発表会」に参加したこと及び発表会の概要について報告があった。

また、12月4日に本学で開催した理科・数学教育シンポジウムの概要について併せて報告があった。

(3) 新年互例会の開催について

総務・企画課長から、新年互例会を1月4日（火）午前11時から大学会館大集会室において開催する旨案内があった。

(4) 役員の人事について

学長から、企画・研究担当の重定理事から平成17年3月末をもって理事の職を辞任したいとの願い出があり、これを承認したこと及び後任理事の選任手続を早急に進めたいとの説明があった。また、学長から、選任にあたっては理事を除く評議員から候補適任者に係る参考意見を聴取したいので、12月24日までに意見をいただきたいとの依頼があった。

(5) その他

評議員から、授業料未納者への除籍に関する手続及び支援体制について発言があり、種々意見交換の結果、申合せの運用方法について工夫を図ることとした。

次回教育研究評議会を1月19日（水）午後1時から開催することとして散会

以 上